



### いにしへのロマンが漂う百年杉の森

霧島の高原の清々しい空気を感じながら、百年杉の森を歩けば、いつしか、三百余年にわたり、こんこんと豊かな湯量を保つ硫黄谷温泉に足を運んだ日本の歴史に名を残す英傑たちが、わたしたちに語りかけてきます。いにしへのロマン溢れる、ひとときのタイムトラベルはいかがですか。



**百年杉庭園**  
この杉林は、硫黄谷温泉の祖湯者船越武門が今から百四十十年前の文久元年頃より、治山の為に植林を始め、代々大切に育てられて来たものです。季節によってシラカシやシラカシなど野生動物が現れます。  
敷地の広さ: 約三十万坪 杉の木の樹齢百五十有余年



**10 硫黄谷神社**  
1日八万石(およそ14,000)の湯量をはる天下の名泉「硫黄谷温泉」の湯の神を祀った神社です。



**11 野口南清 水原 秋桜子 歌碑**  
野口 南清 (1875-1945) 1892(明治25)年-1945(昭和20)年 東洋-民謡作曲家、代表作「七つの子」  
水原 秋桜子 (1895-1985) 1922(明治55)年-1985(昭和60)年 俳人・文学博士



**11 八田 知紀 海音寺 潮五郎 歌碑**  
八田 知紀 (1876-1959) 1799(明治11)年-1959(昭和34)年 歌人、国学者、鹿児島市常盤町生まれ。  
海音寺 潮五郎 (1864-1925) 1911(明治44)年-1977(昭和52)年 鹿児島県大田町出身、代表作「たけなご」



**12 斎藤 茂吉 歌碑**  
斎藤 茂吉 (1897-1982) 1902(明治35)年-1982(昭和57)年 歌人、医師。



**12 若山 牧水 歌碑**  
若山 牧水 (1874-1958) 1876(明治9)年-1958(昭和33)年 歌人、宮崎県出身。



**9 紀元節の歌**  
作詞 高橋正風(鹿児島県出身) 作曲 中村武 紀元節(きげんせつ)とは、かつての祝祭日の中の四日節(紀元節、四方節、天皇節、明治節)の一つです。



**14 与謝野 鉄幹 歌碑**  
与謝野 鉄幹 (1873-1958) 1873(明治6)年-1958(昭和33)年 歌人、詩人。



**14 与謝野 晶子 歌碑**  
与謝野 晶子 (1879-1962) 1878(明治11)年-1942(昭和17)年 歌人、作家、思想家。



**13 「道」**  
妙好人の道。妙好人(みょうごごじん)とは浄土宗、特に浄土真宗に見られる市井の人で阿彌陀仏の本願に目覚め、救われた人と言います。



**8 徳 鳩十 歌碑**  
徳 鳩十 (1863-1907) 1863(明治26)年-1907(明治40)年 日本の児童文学作家、歌は硫黄谷温泉にて詠まれたものです。



**8 龍馬の散歩道**  
龍谷一太の中心地本館から本館へ歩いて来たため「龍馬の散歩道」と名付けられました。日本の歴史の上の真摯なロマンを感じて頂けたら幸いです。



**8 百年杉の森へはこちら**  
硫黄谷温泉入口です。のびのびと歩くと、見事な百年杉の森へたどり着きます。

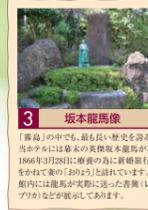


**7 懐かしのポスト**  
奥中では、なかなかお目にかかれない懐かしのポスト。旅先からの郵便はここから集荷されています。

### 硫黄谷庭園 散策ルートマップ

百年杉の森へつながら硫黄谷庭園内には当ホテルに宿泊された歌人・文豪が霧島を歌に詠んでいます。のびのびと散策しながらご覧ください。

歴史を語る  
霧島ホテルへようこそ  
WELCOME TO KIRISHIMA HOTEL



**3 坂本龍馬像**  
「龍馬」の像でも、最も長い歴史を誇る像です。これは坂本龍馬の遺像が、1866年(明治元年)に龍谷の為に新橋旅行をかねて「おのり」と呼ばれています。龍谷には龍馬が逗留した跡(レプリカ)などが残っています。



**4 三代目館主の歌碑**  
霧島をこなく愛した三代目館主船越末彦が詠んだ歌です。



**5 運慶(たの)像**  
悠人の時をすくした運慶法師のようにとしりと顔面していられます。



**6 緑を背景に記念撮影をどうぞ**  
「硫黄谷温泉 霧島ホテル」が記された像と看板があります。裏の壁に自然豊かな緑を背景に記念撮影はいかがですか。

